

私たち国民は「奈良の変」をどう捉えているのか？

岸田首相は何をしたのだ 政治崩壊した日本 国民の信用失墜 政治とマスコミ 治安の悪化

高田純が指摘する7の視点 社会秩序と文明の危機

- 狙いは安倍晋三暗殺** 戦後体制の脱却をめざした偉大な政治家安倍晋三元総理大臣を暗殺
憲法改正 北朝鮮拉致被害者奪還 国防強化 敵地攻撃力保有を訴えた 参議院選挙応援演説中に狙撃
- 岸田政権はじめ国会は暗殺の真相究明委員会を設けず 事件を黙認し容認**
警察は容疑者山上徹也の供述する個人的恨み宗教問題による単独犯と断定し暗殺事件全貌を捜査せず
- 全マスコミも暗殺の背景解明に迫る報道は一切せず**
暗殺事件を容疑者の主張する統一教会問題に事件を矮小化し安倍晋三元総理の名誉を著しく傷つけた
- 警察の闇 警護せず捜査せず** 元総理の警備と捜査の不備を多くの国民が記録映像をもとに指摘
奈良県警本部長鬼塚と警察庁長官が翌8月辞任
- 6万人の国民がネットに集まったターサンチームが科学的迅速に真相究明**
山上単独犯ではない真のスナイパーが撃った銃弾で安倍右頸部に命中した 組織犯罪を証明
被害者への警護意図的不備と捜査疑惑を指摘する数々の事実を記録映像で指摘
- ノンフィクションの時系列、映像と音響の物理解析から組織犯罪を描いた
「国史 奈良の変」高田純著2023年の刊行と拡散 歴史資料を残す 国立国会図書館などの蔵書
- 戦後体制を維持する外圧に屈した日本政治** 織田信長を急襲した「本能寺の変」首謀者明智光秀は
家臣豊臣秀吉にまもなく討たれたが、首謀者不明の「奈良の変」は今も継続したまま